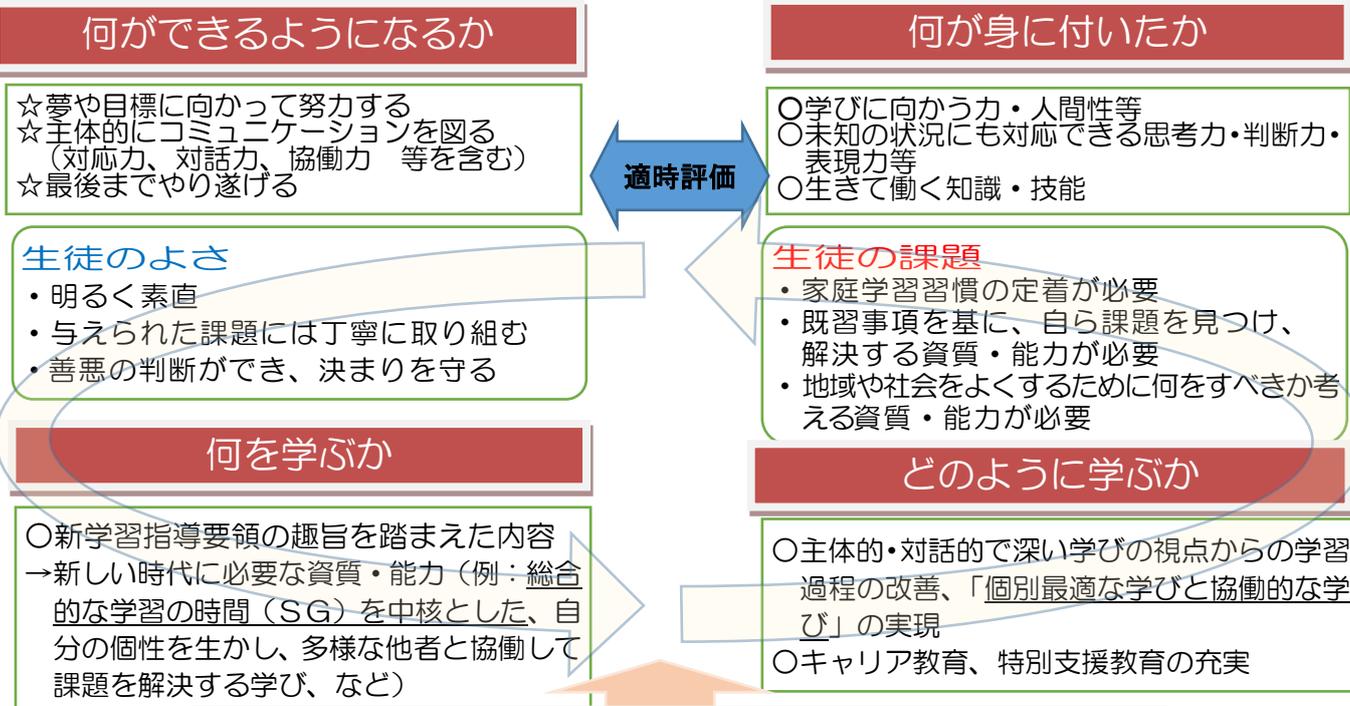


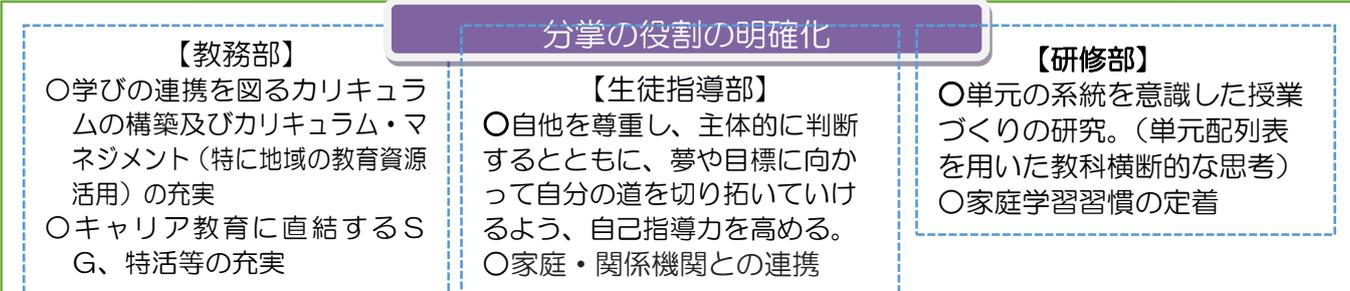


- ◆すべての子どもが「銭函で学んでよかった」 ◆すべての保護者が「銭函で育ててよかった」
- ◆すべての住民が「銭函で生きてよかった」

- 1 小樽市学校教育推進計画 基本理念：「主体的に学び 小樽の未来を創る 心豊かな人作り」
- 2 学校教育目標：「夢や目標に向かって努力し、やり遂げる生徒」
- 3 年度の重点教育目標：「主体的にコミュニケーションを図り、最後までやり遂げる生徒の育成」
- 4 目指す学校像：新たな学校文化を創出するために、主体的にカリキュラム・マネジメントに取り組む学校、これからの社会を支える有為な人材を輩出できる学校（社会人基礎力の育成）
- 5 目指す教職員像：「めざす子ども像」の実現に向け、チームとしての明確なビジョンを持ち、主体的に学校経営に参画する教職員。「新たなステージを創造する」というミッションに向け、個々の強みでつながり補完し合う教職員
- 6 教育課程編成の方針：生徒が「自分に何が身に付いたか」「何ができるようになったか」を自覚できるよう、教科等横断的で、実生活や実社会との関連を図った（地域の人材・資源を有効に活用した）体験的かつ問題解決的な学びを重視する。



実施するために組織として意識を高めること



「重点教育目標」を達成するために、誰からも風通しのよい、報告・連絡・相談を徹底する教職員集団としてミドルリーダーが躍動する創造的、組織的な学校運営を推進。

チーム「銭中」の推進

開かれた学校づくりの推進

- ・メンターを活用したOJTができる体制を構築し、若手育成とミドルリーダー育成に繋げていく。
- ・子どもたちに深い教育的愛情をもって接するための「時間のゆとり・心のゆとり」を生む業務分担と相互扶助を推進する。

- ・学校評価の取組を検証し、社会に開かれた学校を目指し、小学校との接続を大切にしたい一体的な評価システムを構築していく。（小中一貫教育、コミュニティ・スクール）